

会 議 録

1 会議名

平成26年度第7回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

新水族博物館の検討状況について（公開）

【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について（公開）

3 開催日時

平成26年10月15日（水）午後6時00分から午後7時30分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第二会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員： 青山恭造、泉 秀夫、伊藤邦雄、今井不二子、小林克美、佐藤光司、竹内明美、田村利男、田村雅春、中澤武志、福島 弘、増田和昭、町屋隆之、丸山朝安、三上正子（欠席2名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主任、企画政策部：川上部長
新水族博物館整備室：坂井室長、若山副室長

8 発言の内容

【関川センター長】

只今から平成26年度第7回直江津区地域協議会を開会します。本日の出席人員は、15名です。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを報告します。はじめに増田会長から御挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願ひ致します。

【増田会長】

皆さん、お疲れ様でございます。日の暮れるのも、随分、早くなってまいりました。

今日は、新水族博物館の検討状況についてと、自主的審議事項について協議したいと思
います。よろしくお願いします。

それから、傍聴の方ありがとうございます。よろしくお願いします。以上です。

【関川センター長】

ありがとうございました。

それでは同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることとなります。増
田会長お願いします。

【増田会長】

それでは次第に沿って進めたいと思います。今日の会議の予定ですが、7時半には終
了したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

今日の会議録の確認ですが、小林委員と竹内副会長にお願いします。

では、議題に入ります。「新水族博物館の検討状況について」担当の方お願いします。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

皆様、お疲れ様です。室長の坂井と申します。10月1日付けの人事異動で副室長に
若山が新たに配属になりました。併せて、よろしくお願いします。

【新水族博物館整備室：若山副室長】

よろしくお願いします。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

この後、企画政策部長の川上が御挨拶することになっておりますので、よろしくお願
いします。

それでは、早速、本日の報告事項であります「新水族博物館の検討状況について」皆
様のお手元にお配りしている資料に基づき御説明させていただきます。

— 企画政策部 川上部長 入室 —

【企画政策部：川上部長】

遅くなり、申し訳ございません。

企画政策部長の川上でございます。皆様には日頃から市政の推進に格別なる御理解と
御協力をいただいていることに対しまして、改めて心より感謝を申し上げる次第でござ
います。また、今日は、新水族博物館の整備状況について、御説明をさせていただく機

会を設けていただき大変ありがとうございます。私どもも、上越市の大事なまちづくりの新しい施設として立派なものを造っていきたいと思っておりますし、また、地域の皆様から愛される水族館として、地域活性化にも繋げていきたいという思いも持っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

【増田会長】

ありがとうございました。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

それでは、説明に入らせていただきます。

— 資料 「新水族博物館の検討状況について」に基づき説明 —

【増田会長】

ありがとうございました。現在の検討状況について御報告をいただきました。只今の説明に対して、御意見、御質問等ありましたら伺います。どうぞ。

【丸山委員】

新水族館の建設予定場所の辺りは地質調査をしたのでしょうか。なぜかというと、私の知っている範囲ですと、ここは昔、かなり深い谷みたいになっていて、それを埋め立ててテニスコートにしたのですよね。その奥の、今計画している所も深い谷を砂で埋めたのです。だから、地質調査をしていけば、今の話で固い地盤が出てくる所までは、かなり深くなるだろうと想像出来ますよね。逆に思うのですが、もう決まった話ですから仕方ないのですが、上越自動車学校の所は、少し掘れば赤土です。なぜかというと、その場所は諏訪神社があって、十念寺があって、昔からの場所ですから。その続きの私の家の所もずっと赤土。今、水道工事をやっていますけど。1 mか1 m 5 0 cmくらい掘ると、上は砂で、下は粘度の赤土。天保の時代の頃の絵図を見ますと、その場所に国分寺があった。要するにお寺があるというのは地質が良いということですから、そういうことも少し考えてほしいなと思います。

【増田会長】

地質について、心配があるので、その辺はどうかと。端的に言えばそういうことですね。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

野球グラウンドと第1駐車場の試験ボーリングを行いました。それぞれ、30 mから35 mくらいで、地盤に当たるのですが、その後、さらに2 mくらい掘るとスポッと抜

けてしまうといった状況であり、確実な支持層というのは、駐車場では約50mの位置が支持地盤だという結果が出ております。

【丸山委員】

グラウンドも一緒なのですよ。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

グラウンドも一緒でございます。

駐車場であっても、グラウンドであってもその辺りは50mくらい掘らないと支持地盤は出てこない状態になっております。特に、水族館というのは、専門家に言わせると、沈下しても水槽が傾かないように、非常に注意が必要な施設であるとのことから、しっかりと確認した上で整備していきたいと考えております。

【増田会長】

いずれにしても、試験ボーリングですから、実際の際はもう少し詳しく調べるのですよね。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

そうです。今現在、試験ボーリングの状態であり、建物直下で調査しなければ耐震基準や構造計算上では認められておりませんので、今後、建物直下でのボーリング調査は必要になります。

【田村雅春委員】

基本構想の話については、平成19年からプレゼンをやったり、参加したりしてきた記憶があるのだけれど、平成24年から地域協議会でも話をしてきて、私たちがここで問題に出したのは、突然、場所が変わったのはいろいろと理由があるのかもしれないが、行政の皆さんはいろいろなアンテナを張っているのに、何故この様な状況になるのか。頸城の希望館で行ったプレゼンの時に2階建てにして展望が良く見えますよと、目の前には日本海が広がってこれが一番いい案だと聞き、自分の要望どおりだなと思ったのです。そういう経緯を見るとどうも、いろいろと付け足したような言葉があるような気がします。何故かという、当時から風で直江津中等教育学校のグラウンドを使うのは少し、忍び難いという部分がありましたが、最終的には結局直江津中等教育学校のグラウンドに建てるということになりました。それまでの間に何故出来なかったのか。地域住民の皆さんといろいろと話されてこられたと思うのだけれど、その辺が私たちの前では全然出てこなかった議論だったのです。当然、今年の9月市議会定例会の少し前に場所

を変更するという議論が出て、ある議員さんがタイムスに寄稿されておられるようだけど。私たちは水族館を、直江津の地域発展の為の起爆剤というふうに考えていて、それですとやってきたのですが、案が当初の案に戻ったような気がしていました。その辺の経緯がどうもスツと心の中に入らないと言いますか、腑に落ちないと言いますか、そういう部分があるような気がします。

【増田会長】

要は、移してはいけないということではなく、経緯をお聞きしたのだけれども、どうもすっきりと腑に落ちないということですね。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

確かに、委員が言われた部分があるのかもしれませんが、基本計画では、この資料にもあるのですが、案ということで作りました。実際、プロポーザルの時もグラウンドを含めて整備をするような案など、いろいろ出てきました。そして、ボーリング調査の結果が6月頃に出てきました。また、実際に水族館を運営していく指定管理者が必要だという面もいろいろ出てきています。実際、4月以降、指定管理者、設計者、市の3者でいろいろ議論していった中で、やはり場所としては、本日説明した計画が効果的ではないかということになりました。基本計画では2階建てを予定しており、1階部分の面積はある程度広くなければならぬと考えていました。ただ、同じ延べ床面積でも、今回の設計者の提案は3階建てで、同じ延べ床面積でも3階にすることによって、1階部分の面積も十分小さくできるといったことも敷地計画決定の理由としてありました。

【泉委員】

先程の地質調査の結果の話をお聞きしていて、杭が概ね50mくらいということで、200本くらいということですよ。少し腑に落ちない部分がありまして、質問しますが、50mの結果を出すのにどれくらいの深さまでボーリングをされたのでしょうか。要するに、私が心配しているのは、杭の深さが一般的に考えているよりも短いのですよ。というのは、直江津の地盤層というのは大体、55m～60mくらいで出てくるのです。それが強固な地盤なのです。あそこは古砂丘ですから、7mくらい上に上がっています。そうすると、もう少し深くなってもいいはずなのに、逆に短くなっています。おそらく専門家が行っているんで、例えば、「支持層を5mくらい確認しました」というのはあるはずなのですが、普通はこれだけのものをやろうとすると、下の層の近くまで確認するのです。要するに礫層がある。その下にまた軟弱層がある。そこまでは確認するはずな

のですが、それを行っているのかどうなのか。というのは、200本の基礎工事ですから、それが、1m長くなったら相当影響しますからね。なので、安く見積もると困るので、あえてお聞きします。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

確かに泉委員の言われたとおりだと思います。そのため、実際の専門家、コンサルティング業者が行うわけですが、支持層自体は、一番深い所で57mまで確認しています。その中で、平均で出てきた値が、47m前後ということです。先程、説明したように30mとか、15mくらいにも地盤はあるのですが、それを過ぎるとN値が落ちてしまうという結果でした。不同沈下を起こさないよう、しっかりと造らないといけないということで、専門家の知見では、50m前後の支持層まで杭を入れたほうが安全との回答がありました。今、試験ボーリングの段階ですが、大体同じような傾向が出ています。今後、建物直下で調査を行いますが、間違いの無いように行いたいと思っております。

【佐藤委員】

今現在の第1駐車場というのは何台くらい入りますか。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

今現在の第1駐車場は167台が駐車できるようになっています。

【佐藤委員】

そうすると、上越自動車学校の敷地に大型バスを止めた場合、水族館まで行くのに遠くなりますが、雨風とか、夏は日差しが照りつけますよね。どういうふうにして直江津中等教育学校のグラウンドを跨いでいくのですか。

【増田会長】

お客さんがグラウンドを跨いで、たくさん歩くということを心配されているのですが、その辺をお願いします。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

その件につきましては、いろいろな対策をしていかなければならないと考えているのですが、ただ、グラウンドの部分につきましては、100mくらいの距離があります。相当な数の大型バスが来るだろうと予定しておりますので、第1駐車場の脇にロータリーを配置して、一旦、お客様を玄関先で降ろして、大型バスには通常、運転手が付いておりますので、バスを第1駐車場のほうに誘導していくといったことを想定しております。

【増田会長】

他の皆さんどうですか。

【小林委員】

資料の5ページですが、『理由』の中の下から2番目の「野球グラウンド敷地内に都市計画道路が指定されていることから…」となっていますが、将来、計画している都市計画道路とすれば、現在、造ろうとしている水族館の施設の敷地にも掛かってはこないのですか。よく意味が分かりません。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

善光寺浜線という都市計画道路がございます。こちらの道路は、6ページの図で見ていただくと、上越自動車学校敷地の右端です。右端と直江津高校グラウンドという表記の、丁度この間です。この間に南北に入る都市計画道路が指定されているということです。

【小林委員】

グラウンドと今の駐車場の間ってことですか。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

その場所ではなく、グラウンドと上越自動車学校の間です。上越自動車学校寄りの所に南北に計画されているということです。

【小林委員】

そのような所は将来、関係の無い道路ですよ。安国寺周辺でもあらゆる所に都市計画道路があるけれども、千年経っても出来ないような都市計画道路ではないですか。それは理由にはならないですよ。

【新水族博物館整備室：坂井室長】

ただ、都市計画道路の上に建築物は造れないことになります。

【小林委員】

ある種、心の問題ですが、2ページのイメージ図がありますよね。施設があって、緑地があって、道路があって、海側のほうは全然無いですよね。だから、私が一番最初に提案したのは、都市計画道路、いわゆる東西の都市計画道路を右側に振って、そして、その道路と施設の間に緑地を作って、前のほうに海の眺望を良くするという事です。少しナイーブな話ですが、長野県や群馬県から堤防によく釣りに来られていますよね。前に来られた方にお話を聞いたのですが、「お魚がなかなか釣れませんね、今日は全然駄

目ですか」と聞いたら、「駄目だけど、私はいいんです。釣竿を立てて海をじっと見ていてだけで、それで私は満足です。それで来ました。別に魚を釣る為に来た訳ではない」と言っていました。要は、長野県や群馬県の人たちが住んでいる所は山に囲まれている。水平線なんか1年に何回見るか分からない。要は、海の水平線を見て自分の心の中の水平線をずっと見たい。それが一番なのです。水族館を造るということはお魚を見に来るのではなくて海も相当なメインで、心の中にあって、来る訳ですから。

【丸山委員】

やっぱり周辺環境は大切です。水族館周辺の所だけ上越で観光特区みたいなものを設定できるなら、関川から五智国分寺の向こうまで特区に決めて、周回する自動車を捌くための道路を造るなど、ここで何度も言っている都市計画を巻き込んだという形というものが出来ないかというふうにこの会で何度も申し上げているのです。

【増田会長】

ここで論議しているのは引き継いでおりますので、関連で何かありますか。

【町屋委員】

今、丸山委員がおっしゃっていたのは私もお願いをしようと思っていたのですが、今、水族館から海側という話になっていますが、海側だけではなく、その先です。新しい施設が出来て観光の目玉になり得るということも考えなければなりません。と言いますのも、700台入る駐車場が出来ると、そうするとその駐車場に当然アクセスするという部分で道路の幅ですが、例えば、八幡の交差点が狭いのではないかと思います。今日いらっしやらない池田委員がいつもおっしゃるように大通りからのアクセス、そしてその向こう側の郷津のほうへ抜けていくところです。あの辺は道路の幅もそうですし、その周辺状況にも繋がっていきますので、その辺も含めた整備をぜひともお願いします。長野県や群馬県からお客さんが来られた時にふさわしい施設が出来るとすれば、それに準じたふさわしい周辺環境整備をしていただきたい。これは担当課への要望というよりは、市への要望になるのかもしれませんが、これを機会に直江津の悲願でもありますのでお願いしたいと思います。

【増田会長】

ありがとうございました。

【小林委員】

関連で1つだけお願いします。今の上越自動車学校のほうは大型バスがたくさん来る

だろうと、だからロータリーで降ろして駐車場へ誘導してとのことですが、いつでしたか、ツアーのバスが事故を起こしたことがあって、相当ツアーの規制が掛かりました。今年の観桜会を見ていると、ツアーバスが相当減ってきています。この傾向は多分続くと思います。多分、個人で来るお客さんのほうが圧倒的に多いはずですが、ここに大型だけならいいですが、普通の、いわゆる家族連れの方が止めた場合、そこから先ほど言われた動線をどうするかということは、やはり大変重要な話になってくると思います。ただ単にロータリーで降ろすからいいと、そういう話ではないと思います。

【三上委員】

私もお願いなのですが、水族館周辺一帯の整備をお願いしたいと思います。県外から来られるお客様は、やはりきれいな海を想像して来られると思いますので、予算もおありかと思いますが、ぜひ、整備していただきたいと思います。

【増田会長】

よろしいでしょうか。では、市のほうでコメントがありましたらお願いします。

【企画政策部：川上部長】

たくさん御意見いただきましてありがとうございます。地域に対する想いを充分聴かせていただきました。地域の宝である日本海、浜辺、そうしたものを大事にしていかなければいけないという思いから、きちんと道路整備すべきではないかという御意見、御要望をいただきました。私ども、水族館を担当する者と致しましては、やはり、地域全体の整備も大事ですし、綺麗な環境、ゴミも無い景観を大事にした地域全体のまちづくりが必要とっております。ですので、皆様からもお力添えをいただきながら、直江津の町全部が住んでいて気持ちの良い、ごみも無い綺麗な町だなという印象を持っていたような地域にしていければ、より良いのだろうと思います。また、駐車場からの動線についてお話もございました。私も、子どもと一緒に歩いて大丈夫なのだろうかという心配もございます。海を見ながら歩く方法も、南側の住宅の所を歩いて行く方法もあるかもしれません。私どもも精一杯やっていきたいと思いますが、地域の皆さんからも応援していただきながら、良いまちづくりをしていきたいと思っておりますので、これからも御意見等を頂戴したいと思います。今、この場面で出来る、出来ないということを申し上げられない部分があります。私どもも問題意識は持っておりますので、どんな方法があるのか、さらに研究を続けていきたいと思っておりますので、御理解を賜りたいと思います。よろしくお願い致します。

【増田会長】

今、川上部長からコメントいただきましたので、この件はこれで閉めたいと思います。

【町屋委員】

今の川上部長のコメントはそこまでののだろうかと思いましたがあえて重ねて言わせていただくと、先程の動線問題。いろいろ大型バス云々もありますけど、別に大型ではない普通車、第2、第3駐車場で川上部長もおっしゃった、あの横断歩道を渡るということがあるではないですか。今は海側からしか水族館に入れませんので第2駐車場へ入った時はぐるっと回るわけですね。これは多分新しくなれば下辺側からも入れるのだと思うのですが、基本的には道路を渡らないで済むなら渡らないほうがいい。これは上か下を通すしかないのですが。あと、水族館が混むのは夏場の雨の日なんてかなり混みますので雨対策ですね。上に屋根を付けた動線を切望したいなと思います。グラウンドの向こうまで全部。やはりお客さんに来てもらって歩いてもらうのは致し方ないとしても、雨にあたらなくらいの、せっかくですので、後からという訳にはいかないのでは今のうちにここだけは重ねてお願いをしていきたいなと思います。

【増田会長】

他によろしいでしょうか。今日の説明については、地域協議会としては了解ですね。ただ、聴いてお解りいただきましたように、地域協議会で発言していない方も含めて、周辺環境整備は絶対必要だという気持ちは皆さん持っております。前回までのところも、環境整備についてまでも了解したとは言っていないので、微妙な点があるので今後、一生懸命みんなで考えましょう。という扱いになっておりますので御確認ください。それから、町屋委員がその他いろいろなこと、地盤のこと、道路のこと、心配をいただきましたが、これは冒頭に御説明いただきましたように、勝手に進めるのではなくて地域協議会と相談しながら進めますと、必要な時に必要な話をさせていただきますというふうに言っていておりますので、一体となって進めていきたいと思っております。おそらく今日、皆さんが心配されたことは、当然、市の皆さんも検討されていることだと思いますし、私達も地域を代表して問題解決に当たらなければいけないと思っておりますので、より一層連携を深めていいものを造って行きたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

では、この件はこれで終了致します。ありがとうございました。

【新水族博物館整備室：若山副室長】

水族館を起爆剤として地域が活性化していかなければ何も意味がありません。今後、指定管理者となる横浜八景島の社長さんとのワークショップか、シンポジウムなのか詳細は決まっておりませんが、懇談の場を設けたいと考えております。皆様にもお声掛けをし、そういう場所で横浜八景島の社長さんの話を聞いて、皆さんからもこうしたいというお話が出来るようになれば良いと思っております。詳細が決まり次第、皆様に御連絡をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【増田会長】

ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

【企画政策部：川上部長】

今日は、大変ありがとうございました。これからもよろしく申し上げます。

— 企画政策部、新水族博物館整備室 退室 —

【増田会長】

それでは、自主的審議事項について、事務局より説明申し上げます。

【荒木係長】

では、本日の進め方について簡単に御説明致します。

— 資料 「直江津区自主的審議事項について」に基づき説明 —

【増田会長】

直江津区第1期目の任期に、自主的審議事項に挙がりました「消防団のあり方について」問題、課題は、端的に言いますと、消防団が本当に足りているのか、あるいは、数はいるけど、いざという時に役に立つのか、という心配がありました。もう1つは、消防団が第一線で飛んでいかなければならないのかという議論もありましたので、市の防災危機管理課から状況を説明していただきました。改めて皆さんから、今どうなっているか、この課題をどう思うか、という内容を中心に市から話をさせていただく。話を聞いた後で地域協議会としてどうしようかと考えています。例えば、制度も名前だけで動かないというような実態が分かれば、ではどうするのかということをお話しなければならぬし、団員が少ないことについてはどのような対策を取っているのか、他に対策が考えられるかということをお話を我々は検討していかなければならないと考えております。その前段として、消防団活動に関する質問、疑問等がありましたら出していただき、そこを集中的にお話くださいというふうにして進んでいきたいと思っております。お手元に質問票を配らせていただきましたが、日常、疑問に感じているところ、あるいは、こうしたら良い

のではないかとということに適宜書いていただければと思います。提出はどうでしょうか。次回の視察研修の時にしますか。視察研修の時に持ちください。

【荒木係長】

担当課に示して、その回答も得たいと思いますので、もう少し早めがいいかと思いません。

【中澤委員】

前回、防災危機管理課に来てもらいましたが、話が噛みあわないのですよ。こちらが問題意識を持っているところも回答が的を外れていて、どういうことでこれから問題になっていくのかというのは、あまり把握されていなかったようでしたので、協議会でも、問題の意思疎通を図っていく必要があると思います。そのような形で担当課から来てもらう前に時間の設定をお願いします。

【増田会長】

中澤委員が言われた意味を含めて皆さんの考えていることを出していただいた中で、論点を絞ることになると思いますので、担当課から来てもらう前に皆さんでどんなことを考えているか把握するということが必要だと思います。

今月末という意見がありますが、いかがですか。

— 提出期限について話し合い —

では、11月7日を目途に事務局へ出してください。

それから、No.1のまちづくり構想について、前回、進め方について、いろいろ御意見をいただいたのですが、本日は少し時間が押していて、皆さんで論議する時間がありません。まちづくり構想については、前回、意見がバラけたのですが、一番の大前提として、まちづくり構想というのは、誰のためにやるのか、何のためにやるのか、誰がやるのか、その辺りがしっかりしないと議論がバラけるとと思いますので、そんなことをぜひお考えいただきたいと思っております。

ぜひ、一言言いたいという方はどうぞ。挙手をお願いします。

【中澤委員】

前の委員で、その協議会で提案させてもらったのですが、今会長がおっしゃったのは永遠のテーマですよね。それを絞るために協議会での意思統一が必要だと思います。

【増田会長】

誰のために、何のために、誰が、ということを絞り込まないとバラけてしまいます。

私たちの中で絞り込んだ上で、その先を考えていこうという提案です。皆さん、その認識でよろしいでしょうか。

(意見なし)

では、そのように進めてまいりたいと思います。それを踏まえて次回以降の進め方について御意見をいただきたいと考えております。非常に難しいことですが、出発点をしっかりしないとどこへ飛んでいくか分からなくなってしまうので、認識の共有が必要だと思います。

では、自主的審議事項の進め方についてはこの程度にします。

次の議題、「視察研修について」事務局からお願いします。

【荒木係長】

では、視察研修の案について、お手元の資料を御覧ください。現段階での計画案で日程も相手方との交渉等の結果で変わってくる場合もありますので、あらかじめ御承知いただきたいと思います。

— 視察研修について説明 —

簡単な提案ですが、御協議いただきまして、この方向でよろしければ、相手先と交渉をして、詳しい日程等を決めていきたいと思っております。よろしくをお願いします。

【増田会長】

ありがとうございました。

【青山副会長】

今の視察日程ですが、19日、20日に直江津、五智地区の町内会長会議の研修会が入っておりますので、出来れば外していただきたいです。検討をお願いします。

【増田会長】

先に日程を決めたいと思います。

— 視察日の日程調整 —

では、17日か18日ということで、相手方に確認して予定を組みたいと思います。

視察内容について、御意見ある方どうぞ。

視察目的ですが、新幹線開業に向けてというのは、今、その時期ではないので止めて、直江津も小諸もそうですが、新幹線駅周辺地域としてまちづくりをどうするか、それから、小諸も直江津も観光施設があるので、観光客誘致に対してどういう取組をしているか、まちづくりに対してどういう取組をしているか、まさに直江津まちづくり構想の参

考になることをお聞きするというスタンスでいきたいと思います。11時45分から昼食ですが、お昼は自由です。自分の見たい所や行きたい所へ行って、自分のテーマに沿って取材をしていくというやり方でどうかなと思うのですが、お昼だけはみんなと一緒に食べたいということであれば昼食の後、市内見学ということにしたいと思います。

【田村雅春委員】

全体的に見て、あくまでも視察なのだから、自由行動というのは作るべきではないと思います。市内見学はいいと思うけど、11時45分から自由にしなさいというのは少し乱暴すぎると思います。

【増田会長】

では、昼食後、市内見学ということではよろしいでしょうか。

【小林委員】

この資料も見ると、午前中は市から話を聞きますよね。午後は市内見学で「振興組合などからまちづくりへの思いや取り組みにおける感想を聞く」というのは、相生町の振興組合の方からお話を聞くということで理解したのだけれど、違うのですか。

【増田会長】

市役所の中で一緒に話を聞くというようなイメージをしているのですが。

【荒木係長】

私どもで想定したのは、市の考え方と、実際に取り組んでいる町の方の意見の両方を聞ければということで、それぞれ、午前と午後に分けたということです。市と振興組合などの話を聞いてから各自市内見学という形にはいかがですか。

【増田会長】

では、内容的にはそのように再度整理するというので本件はこれで終わりにします。日程は決まり次第、御報告します。

次回の協議会についてお願いします。

【荒木係長】

では、次回の協議会の日程ですが、定例の第3水曜日ですと町内会長会議の研修が入っておりますので、次週の11月26日、水曜日だと考えておりますが、御協議願います。

【増田会長】

では、26日の17時からよろしいでしょうか。

(意見なし)

その他、皆さんで何かございましたらどうぞ。

【丸山委員】

先程少しお話したのですが、まちづくり構想として、観光なら観光の特区構想のようなものを提案して、市へ要望するということはできるのでしょうか。

【増田会長】

市へ意見を出すことは出来ます。ただ、その実現性が薄いか、濃いかということです。例えば、条例を作りたいという意見は出せると思います。この協議会で検討をするのは自由ですから、その先がどうなるかを見極めながら進め、効果的な意見を出すためにみんなで考えていけばよいと思います。

では、会議はこれで終了します。御苦勞様でした。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。